

注 意 報

平成17年9月26日
長崎県病害虫防除所長

平成17年度病害虫発生予察 注意報第6号

温州みかん等 カメムシ類(チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ)

1. 発生地域(対象地域) 県下全域
2. 発生程度 多
3. 注意報発令の根拠
 - (1) 8月下旬のヒノキ樹上での果樹カメムシ類の寄生数は、1枝当たり1.5頭(前年0.1頭)と多く、ヒノキきゅう果の着果量も多いことから、当年世代の発生量は多いと考えられる。
 - (2) 9月下旬のヒノキきゅう果の口針鞘(写真)数が、果樹園への飛来時期の目安となる25本/果に近づいているか超えている地域が見られ(表)、いつ飛来があってもよい状況にある。
 - (3) 諫早市、大村市の病害虫防除員の報告によると、被害を受けている地区が複数ある。



写真 ヒノキきゅう果の口針鞘

口針鞘とはカメムシがきゅう果を吸汁する時に針状の口を刺した跡のこと。

表 9月下旬のヒノキきゅう果の口針鞘数 (単位:本/果)

調査地点	口針鞘数	調査地点	口針鞘数
多良見町東園	9.9	東彼杵町赤木	3.8
長与町岡	2.1	佐世保市針尾	7.9
時津町子々川	17.8	佐世保市宮	13.9
西彼町小迎	12.4	瑞穂町伊福	18.3
西海町木場	12.8	国見町百花台	5.4
大村市今村	26.4	有家町新切	13.2
諫早市長田	17.8	北有馬町下内中尾	21.7

4．防除法等

- (1) 飛来時期や飛来量は園によって差があるので、発生状況に十分に注意し、早期発見、早期防除に努める。特に着色が早い園は集中的に加害される可能性があるので注意する。
- (2) カメムシ類は夜間に果樹園での密度が高まるので防除は夕方または早朝に行う。
- (3) 県央地域は、口針鞘数が多く他の地域と比べ果樹園への飛来時期が早いと思われるので早急に防除対策をとる。
- (4) 収穫時期が近づいているので、薬剤散布に際しては農薬の使用基準を遵守する。